

## 平成28年度第1回石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録

■日 時 平成28年8月3日(水) 18時00分～20時45分

■会 場 庁舎4階 庁議室

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

### 1 会議開催について

委員数19名に対して12名が出席しており会議は成立。(1名遅れて出席)

### 2 開会のあいさつ(後藤会長)

### 3 地方創生交付金活用事業の取組状況について(説明:桂谷主査)

5～6事業一括説明⇒質疑応答を繰り返し実施した。

---

#### 【NO. 1～5の事業について】

(委員)買物支援事業について、網地島に実際行った際、話を聞いたところ、品物を目で見て購入したいとの要望があった。また、共同購入は船賃の方が高いようである。

(包括ケア推進室長)震災以前は、移動販売が行われていたが、震災後は、業者が撤退した。移動販売者からの購入が望まれていることは把握している。しかしながら、船便の関係から、移動販売の目途は立っていない状況である。

(委員)牡鹿バス市民バス運行事業については、少子高齢化が進む地域では、需要が足りない状況はあるようである。福祉と健康部門の事業を一緒に取組んでいくという地域もあるようである。利用者の送迎を市民バスで代替するなど連携することができると思われるが、検討状況はどうか。

(地域振興課長)どのようなニーズがあるのか、どのルートを走らせるべきなのかを検討し、利用者にとって最も利用しやすいルートを設定することとしている。

(会長)それぞれの連携についてはどうか。

(包括ケア推進室長)生きがいデイサービスは、送迎を何班かに分けて行うようなことをしている。

(会長)公共交通の足として、需要が少ないところに、合理的に他事業と結ぶことによって充実するのではないか。

(委員)住民バスは100円で回れるので、高齢者にとって重要であるが、ほしい時間帯に来ないといったことが起きている。生きがいデイサービスに来る人は坂の上り下りは厳しいかもしれないが、バスの乗り降りは十分できる。ぜひ利用してもらえたらよいのではないか。

---

#### 【NO. 6～11の事業について】

(委員)子育て参加促進事業のKPIを参加者数ではなく、父親の育児休業取得率や子どもに関わる時間がどう変わったのかなどをKPIにすると良いのではないか。

また、オープンデータを活用したいと思っているが、なかなかアクセスしにくいと感じている。アクセスのしやすさについて工夫されていることがあれば教えていただきたい。

(地域協働課長)育児休業の取得率や取得数を追っていくことは難しいが、昨年度、女性

活躍推進法ができ、301人以上の企業は育児休業数を設定することとなった。市内の企業に対し、数値を取ることは可能だと思う。子どもに関わる時間についても難しいところはあるが、女性の活躍という面で、こういう数字があればより良いものであると考えている。検討課題とさせていただきたい。

(ICT総合推進室) 昨年度、市HPに載せているものについて、オープンデータ化した。アクセスのしづらさについては、現在、目次ページを作成し、石巻市のHPからアクセスできるようにチャレンジしているところである。大学との連携について、石巻での犯罪の数について、オープンデータ化できないか行っていることである。

(委員) 子育て参加促進事業において、「地域における父親のネットワーク構築」とはどのようなことを考えているのか。

(地域協働課長) 現在のところ詳細は決まっていないが、昨年度、父子手帳を作成しており、お父さん方の情報共有のようなことができればと考えている。

(委員) 以前より父親も育児について、積極的になってきている傾向があるようだ。おじいさん方も参加しているようである。

(地域協働課長) 働いていないおじいさん世代の協力が必要だと考えており、また元気であっていただきたいという思いで、お孫さんと一緒にという思いでイクジイというものを取り入れていきたい。

(委員) 妊産婦相談事業であるが、場所が市役所のみとなっているが、産科やその後利用する施設を考えるとそういう場所で行ったらどうか。相談する方は、不安があるので、継続的なものにできたらよいのではないか。

(健康推進課長) 心とからだのトータルケアは子育て支援センター等で行っている。妊産婦の相談や新生児のお世話の仕方などの研修を行っている。妊産婦相談が市役所の中で行きにくいということもあろうかと思われる。外に出向いていく手法も良い形になるという気がする。今後検討していきたい。

(委員) 初期の段階で不安を取り除くことが必要である。関係機関と連携ができればと思う。

(健康推進課長) 母子保健手帳を交付する際は、保健師や看護師と1対1で渡すようにしている。そうすることで、悩みを聞きながら行っている。

(委員) オープンデータ事業について、民間活用は促進させていくのか。

(ICT総合推進室) 民間活用はぜひしていただきたい。ビジネスとして活用していただきたいという趣旨で行っている。国ではRESASというものもある。例えば、ごみカレンダーをアプリとして活用している。

(委員) 担い手育成事業と空き家活用事業とを連携させることで、相乗効果を得られるのではないか。

(復興政策課長) 空き家活用事業については、まずは石巻に住んでいただいて、石巻がどういう場所であるかを知っていただくきっかけにしてもらうための事業である。調査費は入っておらず、委託事業者が空き家を探し、移住したいという方とのマッチングを行った。今後は、住む場所や働く場所などをトータルコーディネートする相談窓口を設置していく。

(会長) 震災後、漁業にスポットが当たっているが、内陸部の農業も主要な産業の一つである。担い手として一人でも二人でも石巻に入っていただきたいと思う。

(水産課長) 沿岸部に漁業者を増やそうとする気持ちが強く、旧石巻市の漁協東部支所が積極的に活動している。

(会長) オープンデータについて、どのように活用したらよいか分からない事業者がほとんどではないか。セミナーや勉強会を取り入れていったらよいのではないか。

---

#### 【NO. 12～17の事業について】

(委員) 創業支援事業で、実績が出ているが、具体的にどのような業種で起業されたのか。

(産業推進課長補佐) 市の補助金を活用した事業者では、インターネット接続サービス業、卸売業、飲食業等もあった。個人事業主がこの補助金を使っているケースも多い。

(委員) 関連して、雇用された人数はどれくらいであったのか。

(産業推進課長補佐) 平成28年度時点で、18件の交付決定をしており、計画期間の5年間で140名の雇用を予定しているが、現段階では70名程度の雇用が生まれている。

(委員) 事業の目的として、創業率を高めたいのか、石巻を代表する企業を育てて生きたいのかどのように考えているのか。

(産業推進課長補佐) 平成26年6月に創業支援計画を策定し、国の認定を受けている。理由として、震災以降、人口流出に歯止めがかかっていなく、事業所数、従業者数も大幅減少していることから、新たな雇用創出必要となっている。また、開業率の向上を図ることも目的としている。また、公金が入っているので、起業された方へのフォローアップ重要であり、ヒアリング等も行い、事業計画どおりに進んでいるか、現在直面している課題等があるのかを確認している。

(委員) 事業自体が、広く浅く対象としているのか、事業者を絞って手厚く行おうとしているのか。

(産業推進課長補佐) 対象は絞っていない。幅広く多くの方に創業していただきたいと考えている。

(委員) 創業して、三年ほどで廃業しているところが多いので、地域を代表する企業とするためには、フォローアップが必要であり、金融機関の協力も必要である。

(委員) 金融機関でも力を入れている。新たな調達方法として、SNSなどでクラウドファンディングもある。昨年は、創業ビジネスグランプリ審査にも参加させていただいたが、受賞者との接点がなかったので、もう少し関わっていきたい。

(副会長) 創業ビジネスグランプリについて、受賞された方々はその後、どのような現状になっているのか教えていただきたい。

(産業推進課長補佐) フォローアップを行っているが、創業まで至っていないというのが現状である。今年度も実施予定であるが、フォローアップにも力を入れていきたい。

---

#### 【NO. 18～23の事業について】

(委員) 外国語観光パンフレットはどこに設置されているのか。

(観光課長) エバレットに600部、中国温州市に1,000部、ソウルに600部設置している。市内のホテル、旅館、観光施設に送付予定である。県内観光施設等に配布していく。

(会長) 一般市民が入手できるのか。

(観光課長) 観光課窓口にも設置しているが、ホテルや旅館、高速道路サービスエリア等にも配置することとしている。

(委員) インバウンド誘客を図るのであれば、旅行代理店にも配置したほうが良いのではないか。

(観光課長) 現在、JTBにお願いをしているところである。

(委員) 観光関係のNO21から23の事業は関連していると思うが、統括している委員会のようなものはあるのか。

(観光課長) 現在はなく、観光課、観光協会が各々の役割を持って動いている。今般、DMO組織を立ち上げようとしており、情報収集、分析、観光戦略、観光商品の販売等を行い、東松島、女川を含め、石巻エリア全体で集客を行うことが必要であると考えている。

(委員) 全体を統括的に行う組織として組み立てていったほうが良いと思う。

(委員) トレインチャンネルの経費はどれくらいとなっているのか

(観光課長) 130万程度となり、1回当たり15秒、1時間当たり2回、1日50回以上の放映時間であった。費用対効果がどれくらいかを計測するのはなかなか難しいと思うが、今後、誘客効果がどれくらいあるのかを検証していきたい。

(委員) どれくらいの人数が画面を見ているのか。

(観光課長) 数値は手元で持ち合わせていない。

(委員) 地域の宝研究開発事業において、有力な農産物として薬用植物をあげているが、具体的に何かあるのか。

(農林課長) 具体的なものとしては現在ない、土壌にあったものでなければ育たないことから土壌調査を行いながら、選定していくこととしている。

---

### 【全体を通じて】

(会長) 石巻の畜産業農家数が増えてほしいと思うのだが、現状はどうか。

(農林課長) 震災後、高齢等を理由にリタイアされた方も相当数いる。農協とも連携しながら、増頭をしているところである。畜産については、糞尿の問題もある。肥育の素牛の市場価格が2倍、3倍となっている。肥育環境が整い、さらに稲作と同様に担い手として若い方が出てこないといけない。国のほうでも畜産クラスター制度を使い、増頭する流れもある。

(委員) 糞尿の処理方法はどのようにしているのか。

(農林課長) 大きい畜産農家であれば、個別に処理、また、稲作農家と連携し、水田に散布して土作りに活かしている。市でも堆肥センターを設置しており、こちらを活用している方もいる。

(審議監) トレインチャンネルについてであるが、電車に乗っている人たちは、大概携帯電話を見ている。それ以外の方は中吊りやモニターを見たりしている。今後、ターゲットを絞り込みながら実施すれば有効なのではないか。

(委員) 東北本線と重なることから、京浜東北線を選んだのか。

(観光課長) 選考理由については分からないが、おそらくそういうこともあると思う。

(委員) K P I の指数で達成状況を見ていくのは、実績とイコールではないということが分かった。

(復興政策課長) K P I の設定につきましては、基本的にアウトカムでの設定をしている。達成しやすいもの、達成しにくいものなど事業によってさまざまであるが、これらをチェック (検証) していただき、変更、改善を行っていきたいと考えている。

(委員) 石巻の地域でもっとも重要な事業は「NO. 20の水産加工場生産性向上支援事業」だと思っている。この事業がうまくいかないとならぬと石巻の産業は成り立たないのではないかと感じている。トライアンドエラーを繰り返しながら、進めていっていただきたい。

(水産課長) われわれも関係者と連携して、努力していかなければならないと感じている。

(会長) 水産業の生産性を上げることは石巻にとって重要であると感じている。

---

#### 4 その他

地方創生推進交付金及び企業版ふるさと納税に係る地域再生計画の説明

(説明：復興政策課長)

スケジュール、総合戦略 K P I 評価検証方法、未来石巻市政策コンテストのお知らせ

(説明：桂谷主査)

#### 5 閉会のあいさつ (副会長)

# 石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員名簿

(平成28年6月29日現在)

No.	氏名	所属	備考
1	安住栄一	牡鹿地区住民代表	出席
2	阿部紀代子	コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会	副会長 出席
3	阿部 都	いしのまき農業協同組合	欠席
4	荒木 裕美	特定非営利活動法人ベビースマイル石巻	出席
5	大 浪 茂	河北地区住民代表	出席
6	小野寺 芳一	七十七銀行石巻支店	代理出席
7	木村 美保子	いしのまきNPOセンター	欠席
8	後藤 宗徳	石巻観光協会	会長 出席
9	西 條 拓也	いしのまき農業協同組合	欠席
10	佐藤 清子	河南地区住民代表	出席
11	佐藤 尚美	北上地区住民代表	欠席
12	品野 光一郎	宮城県漁業協同組合	欠席
13	庄 子 真 岐	石巻専修大学	出席
14	大 黒 雅 弘	日本労働組合総連合会宮城県連合会石巻地域協議会	欠席
15	高 橋 真由美	雄勝地区住民代表	出席
16	中 川 尚 仙	石巻商工会議所	出席
17	永 澤 貞 代	桃生地区住民代表	出席
18	芳 賀 信 幸	石巻市地域包括ケア推進協議会	出席
19	三 浦 トキエ	石巻市地域婦人団体連絡協議会	出席

(氏名の五十音順、敬称略)